



座光寺風景

秋色の里を電車が走る
宮の前から、竹田扇之助記念人形館を望む

発行 座光寺地域自治会
編集 公民館委員会
印刷 広報部
株南信州新聞社

— 人のうごき —
 世帯数 1,536 戸
 人口 4,709 人
 男 2,301 人
 女 2,408 人
 (21年8月末日現在)

の里 交わすあいさつみんなの笑顔
あいさつ・声かけひびく座光寺に

思いやりの心を育み、住民

届けしました。

同二が笑顔でおいさつしあい
みんなで声をかけあつて見守
り合うやさしい座光寺にする

素晴らしい作品が多く、審査するのに大変悩みました。また、児童と保護者が、親子

学校低学年百三十五点、高学年百二十九点、保護者百三点、一般二十八点と、大変多くの作品が寄せられました。

さつそく審査会で審査し、次のとおり最優秀賞・優秀賞が決定しました。優秀作品には図書カードを、投稿してくださった児童全員に鉛筆をお

ました。今後は、入賞作品は勿論その他の作品も、地域の皆さんに紹介し、笑顔であります。さつしあう座光寺になるよう役立てていきたいと思います。

投稿してくださった小学校児童、保護者。地区住民の皆さんありがとうございました。

(健康福祉委員会 横前泰子)

◆低学年の部
最優秀賞 宮崎（三年）木下 摽深さん
あいさつは みんなをつなぐまほうのいとば

優秀賞 唐沢（二年）市岡佳大さん
おはようがいっぱいえる 座光寺の子
優秀賞 大堤（北）（二年）中山佳樹さん
ただいまとおかえりがひびく ほくのいえ

最優秀賞 大堤(東)(五年) 小池 風音さん
おはようと みんなの笑顔は たからもの
優秀賞 高岡(四年) 吉田 有さん
ういざつを かわせばまは ハンコホカ

あいさつを かわせば心は ホッカホ
優秀賞 河原 (六年) 佐々木光介さん
こえかけで 笑顔あふれる いい地域

◆保護者
最優秀賞
一般の部
井和 湯澤 久江さん

優秀賞 宮の前 松下 三国さん
声かけて 深まるきづな となり組
優秀賞 唐沢 今村 慶さん

届けよう
回覧板とその笑顔

「みんなの夢づくり交流会」報告

「女性の魅力(げんき)が輝く地域づくり」をめざして

今座光寺での地域づくりの輪は、確実に広がりをみせて、子育てや食生活への不安、人と人のつながりの希薄化等は依然大きな課題であり、お互いに支え合い、認め合つて暮らせる仕組みづくりに取り組まなくてはなりません。

それには、女性の体験を基にした知恵と行動がなくては進みません。女性も地域づくりに積極的に参画し、そのげ

んきが輝く地域づくりを進めよう。有志による実行委員会が結成されました。今後、学習会や話し合いの機会を設け、女性のげんきが輝くように提言をまとめたり、女性の連帯の輪を広げたいとしております。今後の活動に大きな期待をいたしま

(八月九日)開かれました。

この程、その端緒を開く「みんなの夢づくり交流会」が、この程、その端緒を開く「みんなの夢づくり交流会」が、小田切先生は、新しいコミニティー作りは、住民が自らの地域を自らつくるという意識を持つ仲間と共に自分たちの未来を切り開く積極的な活動展開によって生まれる。今までの守りの自治から、女性も若者も参加し展開する攻めの自治をと提案され、その道筋についてお話くださいました。

最後に先達の言葉を引かれ、「出来ることから、身の丈にあつた活動を絶え間なく

こつこつとやっていく。その中からできたこと、始めたことへの愛着、誇り、生きがいが少しずつ生まれてくる」疲れすぎないよう、「がんばり過ぎないよう」。自分たちのペースで」と結ばれたのが心に残りました。

パネルディスカッションでは、代田勝さんが、原地区が一つにまとまり元気になるために取組んできた「ハラ一杯祭」の活動について発表し、宮沢俊子さんが、自ら取組んだ、体験農業の受け入れ、農産物加工や直販所の開設等の、地区活動の体験を語りつつ、いろいろの場面で多くの女性が活動しているが、それらが一つに繋がって力を發揮するまでに至らない、当地区の課題を提起された。

「夢ランド十町」の荒木さんは、「せつかくの人材がいるのにもつと思いつつ切つて活動して」と、

また、知恵袋を持つている高齢者や生活体験の豊富な主婦は、子育てや、おいしい料理作りなどの知恵を提供することもできる。「夢ランド十町」のテーマ「できるひとができる」身の丈にあつた活動を「座光寺地域でも進めていきませんか。」

私たち委員は、手助けを求めている皆さんや何かを提供できる皆さんの架け橋になつて手助けできればと思つています。

どうか皆さん、「みんなが主役の地域づくり」を目指して進んでまいりましょう。

みんなの夢づくり交流会

実行委員長 林 敦子

守りの自治から攻めの自治への転換を

いるようすを楽しそうに語ってくれました。女性の目線でどうしたら一人ひとりが活動の輪に参加してくれるのか、そして継続維持できるのかを考えて取組んでいる努力がすばらしいと思いました。

これから、私たちは何をどうして行けばよいのでしょうか。現在、座光寺地区には、多くの「ふれあいの場所」があります。運動会、文化祭、竹宵、乳幼児学級の他に、様々な団体の活動など。これらに一人でも多くの人が参加し、ちょっとみんなで声掛け合つて、話の輪を広げることで地域が良くなっていく。子供や孫の発表を見るだけでなく、回りの方々の発表を見てみる。そうすることで、あのおばちゃん、おじいちゃんがこんなことをしているんだと見直すこともある。

地区で、できることを繋げていけば大きな力になる」と励まして下さった。

これから、私たちは何をどうして行けばよいのでしょうか。現在、座光寺地区には、多くの「ふれあいの場所」があります。運動会、文化祭、竹宵、乳幼児学級の他に、様々な団体の活動など。これらに一人でも多くの人が参加し、ちょっとみんなで声掛け合つて、話の輪を広げることで地域が良くなっていく。子供や孫の発表を見るだけでなく、回りの方々の発表を見てみる。そうすることで、あのおばちゃん、おじいちゃんがこんなことをしているんだと見直すことがある。

また、知恵袋を持つている高齢者や生活体験の豊富な主婦は、子育てや、おいしい料理作りなどを提供することができる。「夢ランド十町」のテーマ「できるひとができる」身の丈にあつた活動を「座光寺地域でも進めていきませんか。」

私たち委員は、手助けを求めている皆さんや何かを提供できる皆さんの架け橋になつて手助けできればと思つています。

どうか皆さん、「みんなが主役の地域づくり」を目指して進んでまいりましょう。

第一部 講演と実践報告

◇基調講演

「みんなが主役の地域づくりとは
—全国の事例から考える—」

講師 明治大学 小田切徳美教授

◇実践報告

「できるひとが できることを
できるときには身の丈にあった活動～」

報告者 熊本県和水町「夢ランド十町」
荒木美智子・池上久美子さん(農家の主婦)

* * * * *

第二部 パネルディスカッション

「みんなが主役の地域づくり～
いまできることから始めよう！～」

■コーディネーター 法政大学 国司直也准教授

■座光寺地域の取り組み発表

「ハラ一杯祭」の活動 原 代田 勝さん
座光寺の女性参加の現状 万才 宮沢 俊子さん

■助言者 小田切教授 荒木さん、池上さん

女性が地域づくりの主役 夫は支え役

「夢ランド十町」の二人のトーケは、大変迫力があり、学ぶべきことの多い内容でした。地域の祭りの復活、物づくり、子供の集い等、魅力ある地域づくりを女性たちが中心になって生き生き行なつて



「夢ランド十町」の二人のトーケは、大変迫力があり、学ぶべきことの多い内容でした。地域の祭りの復活、物づくり、子供の集い等、魅力ある地域づくりを女性たちが中心になって生き生き行なつて

は、「地域活動の最小単位が五十人、六十歳

帶、それが集まるのが座

光寺地域。一つ一つの

小田切先生

は、「地

域

活動の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

活動

の最

小

田

切

先

生

君

は、「地

域

待望久しつかた二路線が開通しました。稻荷坂線は座光寺を東西に結ぶ幹線道路。また上段には小学校、児童センター、保育園等の文教施設が集中し、通学路でもあり、災害発生時は避難道路ともなる重要な道路。その改良の早期実現は地域住民の強い願いでした。

北部農免道路は、上郷丹保地区から座光寺を通じ高森町下市田地区までの農道整備事業として計画されました。

平成十五年には南大島川迄地までの工事が着手されましたが、朝夕の国道の混雑が増す中、その開通が待たれました。共に着手から完成までには長い年月を要しました。

稻荷線は十六年十一月、元関係者から改良工事について同意する為の要望提案が提示され本格的に動き出し、十二月には用地測量も始まりましたが、市の予算難と道路拡幅中の問題で当初の計画より一年の遅れとなりました。また、農免道路は、東西に横断する道路との安全性を確保するための対策等に手間ど

りました。稻荷坂線は他の道路に移し、将来的に横断歩道を設けることで、また車両については、注意を促す看板、センサーによる歩行注意の電光標識、カラー舗装等の安全対策を施し開通の運びとなりました。

用地問題、道路構造、安全確保、予算面など、経余曲折ありましたが、一つひとつクリアし、完成に至ったことは大きな喜びであり、地元関係者、自治会の諸先輩、また

建設部長 小林幸一
りましたが、児童・生徒通学路は他の道路に移し、将来的に横断歩道を設けることで、また車両については、注意を促す看板、センサーによる歩行注意の電光標識、カラー舗装等の安全対策を施し開通の運びとなりました。

用地問題、道路構造、安全確保、予算面など、経余曲折ありましたが、一つひとつクリアし、完成に至ったことは大きな喜びであり、地元関係者、自治会の諸先輩、また

飯田北部地区農免農道

事業名 農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業
事業主体 長野県
着工・完了 平成2年度着手 平成21年度完成(10月4日)
全体事業量 3,317m
全体事業費 1,232,500千円

市道2-61号稻荷坂線

事業名 稲荷坂線改良工事
事業主体 飯田市
着工・完了 平成17年度着手 平成21年度完成(8月28日)
施工延長 535m
総事業費 125,000千円



整備された横断歩道（農免道路）

広報座光寺を活用ください

市長自らが市政の方針を語る他、地域が抱える諸問題と一緒に考えようと計画された市政懇談会が、七月十三日、牧野市長、丸山副市長、宮沢総務部長をお迎えし、地域から八十余名が参加し、開催されました。

冒頭、市長には、舞台桜や元善光寺界隈、竹宵や水辺の広場の活動など、座光寺地域住民の地域活性化の取組みを評価していただきました。これらは、地域の皆様の知恵と汗と根気の賜物であり、他地域からも高く評価されていることから、関係者の自信にもなったことと思う。

副市長の定住自立圏の説明の後、意見交換では、工業高校跡地利用とスマートIC問題は非常に大きな課題として受け止めているとの発言があつた。

工業高校跡地は、今までの副市長の定住自立圏の説明の後、意見交換では、工業高校跡地利用とスマートIC問題は非常に大きな課題として受け止めているとの発言があつた。

副市長の定住自立圏の説明の後、意見交換では、工業高校跡地利用とスマートIC問題は非常に大きな課題として受け止めているとの発言があつた。

飯田市が良くならなければ暮せる健康ケア計画や、子育て支援策にも力を入れて行くとのお話もあり、日頃の生活の中でも、特に女性の皆さん

の関心のある分野にも色々手当

てをしている様子が分かりました。

その他の、高齢者が安心して

生きるための取り組みについて、市長は「これからも積極的に取り組んでいきたい」と述べました。

表紙には、地域の象徴「座光寺富士」を吉川稔さん（共和）が描いてくださいました。

「お知らせ版」と共に綴じ込み、活用して下さい。

広報ファイルをお配りしました。

飯田市が良くならなければ暮せる健康ケア計画や、子育て支援策にも力を入れて行くとのお話もあり、日頃の生活の中でも、特に女性の皆さん

の関心のある分野にも色々手当

てをしている様子が分かりました。

その他の、高齢者が安心して

生きるための取り組みについて、市長は「これからも積極的に取り組んでいきたい」と述べました。

表紙には、地域の象徴「座光寺富士」を吉川稔さん（共和）が描いてくださいました。

「お知らせ版」と共に綴じ込み、活用して下さい。

飯田市が良くならなければ暮せる健康ケア計画や、子育て支援策にも力を入れて行くとのお話もあり、日頃の生活の中でも、特に女性の皆さん

の関心のある分野にも色々手当

てをしている様子が分かりました。

その他の、高齢者が安心して

生きるための取り組みについて、市

特集 防災訓練に寄せて

防災訓練を終えて

一区連絡長 今 村

勇

日赤奉仕団には、例年のように炊き出し訓練をお願いしました。救急とは思えない程のおいしいおにぎりとみそ汁は好評で、日頃の成果が良く出ていました。

九月六日、座光寺地域防災訓練が実施されました。

間近に迫り来るといわれる東海地震に備え、地震発生時に人々はどういう行動をとるだろうかを考え、被害を最小限に食い止めるための訓練に重点的に取り組みました。

たまたま、八月十一日早朝静岡を震源とする震度四の地震が発生し、その揺れの強さに驚かされた人も多く、真剣な取り組みがなされました。

震度六の地震は、震度四千倍のエネルギーを持つと言われ、人は立つことも出来ず、這いつくばり、家はつぶれ、道路も寸断、電気・ガス・水道も止まり、多数のけが人や死者が出ます。

外部からの支援は無いと覚悟し、自分たちのことは自分たちで総てのことをしなければならないというのが実態のようです。

このことを考え、本年の訓練のテーマは、安否確認、救命、初期消火、そして、非難誘導、非難所設置訓練でした。



心肺蘇生訓練を受ける住民

健康福祉委員会の一員として、非難所設置訓練に参加しました。

私は、避難者受け入れの体育馆で、簡易更衣室三ヶと家族コーナー間仕切り二ヶを作りました。組立ては、想像以上に簡単で、だれにでもできました。

このような物が必要になることは喜べませんが、いざという時の為にいつでもできるよう健康福祉委員会は準備をしています。

(副委員長 氏井利彦)

飯田市消防技術大会出場
原・宮崎班

飯田市消防団第四分団では新入団員との意思疎通と消防技術の向上を図るために、各班一丸となつて操法訓練を行つて來た。

飯田市の消防技術大会において、原・宮崎班が五位に入賞し、七月十二日の飯伊消防技術大会に出場した。

黒川分団長は「分団員がこ

消防協力費の納入について

今年度より、座光寺地域の、全世帯及び全企業より年額千円を、消防協力費として、ご負担頂くことをお願いしてまいりました。



操法訓練にはげむ団員

まだお済でない方は、近日中に納付して頂きます様、宜しくお願いいたします。

問い合わせ先

お近くの自治委員
または、座光寺自治振興セ

非難所設置訓練に参加

ぞつて手伝いに参加し、更に地域の方々やOBの方々からも並々ならぬご支援を賜り、まさに座光寺消防団が一つとなり、同じ目標に向かつて歩いているのだということを実感することができた。」と喜びを語り、日頃の消防活動への協力、消防協力金の全戸徴収への住民の理解に感謝の言葉を述べられていた。

私は、避難者受け入れの体育馆で、簡易更衣室三ヶと家族コーナー間仕切り二ヶを作りました。組立ては、想像以

て、非難所設置訓練に参加しました。

私は、避難者受け入れの体育馆で、簡易更衣室三ヶと家庭

益々充実する

— 各地区の活動 —

各地区で、親睦を深めたり、地区資源に着目した活動を開催する動きが活発になりました。地域づくりは、組合、地区の小単位の取組みが一番大切です。各地区が心と心を結び合う活動を一層盛り上げていきたいものであります。ここに、三地区的取組みのようすを紹介します。

ハラ一杯祭復活

今年は、八月二十二日に「ハラ一杯祭」が大勢の皆様の参加を頂き盛大に行われた。

四種目ほどの競技による組合対抗のミニ運動会を暑い中頑張り、続いて地域自治懇談会を行いました。懇談会には自治会正・副会長、市会議員の湯澤さんにも来て頂き、地域課題についての熱のこもつた話し合いができ、有意義な時を過ごすことができました。

その後、会所の席で懇親会が始まり、日頃あまり顔を合わすことのない人とも話すことがありました。



祭りを楽しむ

ともで、和やかな時を持つことができました。

最後に、何年かぶりに小規模ながらも、ナイヤガラの滝、スター・マイン、大三国などの花火を打ち上げました。その都度大きな歓声があがり、会場一帯が大いに盛り上がりました。

良い祭ができ、ハラ一杯祭と地区的益々の発展を願い、共にその労をねぎらい終了しました。

原地区長 浜田新祐

恒川清水地区には、白山下と言った地名があり、その場所には清水が湧き出て、ホタルのエサとなるカワニナ、シジミ、サワガニなど棲んでいます。毎年六月上旬（七月下旬になりますと、暗闇の中で幽玄な光をはなすホタルを見ようと、多数の方が訪れます。私達も六月中旬にホタル観察会を行いました。ゲンジボタル、ヘイケボタルのコラボ

始まり、最近生活様式の多様化に伴い、各家庭環境も変化し、地区内で一同が会することは困難となりました。当地区では、そばや野菜を作り、そば打ちをして楽しむ「夢農園」、いちご桜の周辺を公園化し整備する「いいちこ会」などの趣味による集ま

ホタル観察会

小さなことからはじまる

恒川清水地区には、白山下と言った地名があり、その場所には清水が湧き出て、ホタルのエサとなるカワニナ、シジミ、サワガニなど棲んでいます。毎年六月上旬（七月下旬になりますと、暗闇の中で幽玄な光をはなすホタルを見ようと、多数の方が訪れます。私達も六月中旬にホタル観察会を行いました。ゲンジボ

タブル、ヘイケボタルのコラボ

然の豊かさの象徴。この自然を守り残すと共に、えさとなるカワニナを増やすため、石灰岩を入れるなどの努力をして行こうと皆で話し合っているところです。

恒川地区長 古田衛嗣

アサギマダラが生息する事は自然の豊かさの象徴。この自然を守り残すと共に、えさとなるカワニナを増やすため、石灰岩を入れるなどの努力をして行こうと皆で話し合っているところです。

アサギマダラに座光寺でゆっくり休んでもらう休息地にしようではあります。ホタルが生息する事は自然の豊かさの象徴。この自然を守り残すと共に、えさとなるカワニナを増やすため、石灰岩を入れるなどの努力をして行こうと皆で話し合っているところです。

アサギマダラに座光寺でゆっくり休んでもらう休息地にしようではあります。ホタルが生息する事は自然の豊かさの象徴。この自然を守り残すと共に、えさとなるカワニナを増やすため、石灰岩を入れるなどの努力をして行こうと皆で話し合っているところです。

五区 赤羽目茂



アサギマダラとフジバカマ

り、地域の情報を「北市場かわら版」にまとめ共有する活動、更には各行事への地区あげての参加、その後の懇親会での会話等の取り組みをしています。

これらにより、老若男女の距離を縮め、年配者の知恵と経験、若い人の行動力と斬新なアイデアを融合し、年代間のギャップの解消を意図しています。

世の中は変わつても、原点は人と人との会話であります。その機会をいかに多く作り活用して行くか

アサギマダラの休息地に

今年もアサギマダラが我が家にやつてきた。五羽、十羽、二十羽、アサギマダラは夏東北から秋に日本を縦に横断しアマミ大島、沖縄に渡る渡り蝶です。アゲハ蝶より少し小さいが美しい蝶です。アサギマダラは全国的な愛好者がたくさんいて、その数は六千とも一万ともいわれています。

アサギマダラの吸う蜜の花は「フジバカマ」という花です。美しい花ではありませんが、多いときには五十匹近く来ます（我が家）。

フジバカマを植えてこの口マンある蝶の旅のいこいの土地を提供しようではあります。

先日インターネットで私も会員になりました。愛知県の蟹江町はアサギマダラの寄生地として二鈴のフジバカマを植え、飛来する蝶は数千羽になるそうです。夢のある町づくりだと思いました。

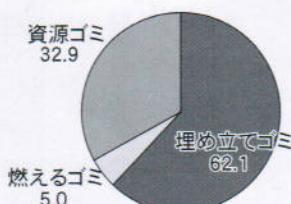


北市場地区長 尾畠 明

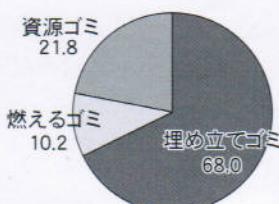
埋めるゴミ組成調査

年度	19年度	20年度	21年度
埋め立てゴミ	68.0%	62.1%	70.0%
燃えるゴミ	10.2%	5.0%	8.2%
資源ゴミ	21.8%	32.9%	21.8%
計	100%	100%	100%

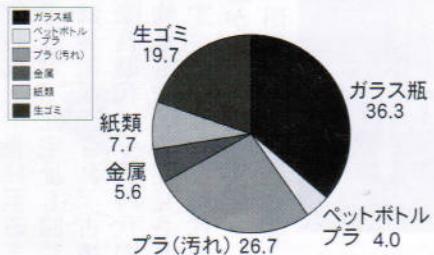
平成 20 年度



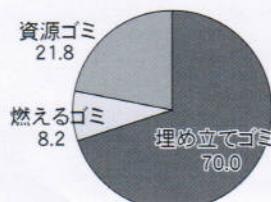
平成 19 年度



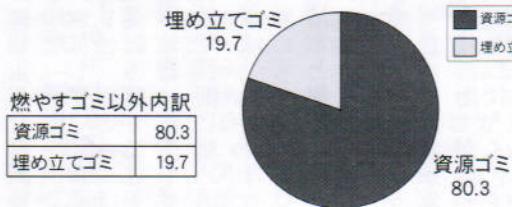
埋め立てゴミに入っていた資源ゴミの内訳 (21年度)



平成 21 年度



燃やすゴミ以外の内訳



六月二十二日、埋立ゴミ及び燃やすゴミの組成調査を実施しました。結果は、埋立ゴミ全市二十地区中七位（昨年は十二位）、昨年より改善傾向にあります。が、埋立ゴミ以外の混入率はまだ三十%もあります。（昨年は三十八%）燃やすゴミは本年より実施、全市二十地区中十三位

で、燃やすゴミ以外の混入率は十三%でした。まだまだ分別が不十分です。お手元の分別表、リサイクル表を再度確認頂き正しい分別をお願い致します。

尚、水質調査は八月に実施しましたので、次回に報告致します。

（委員長 佐々木實）

環境の保全とゴミの削減で住み良い麻績の里を作ろう！



正しい分別を願って組成調査

燃やすゴミ組成調査



安全運転を呼びかける委員達

（生活安全委員長 池場高男）

交通事故の被害者は高齢者が二十七%、加害者は女性運転者が三十%、また、事故の場所は交差点が四十四%となっています。

九月八日、高森に県警本部交通機動隊飯田分駐隊が開設し、違反運転等をより厳しく取り締まることになりますが、何といっても一人一人が安全意識を持つことが大切です。

今一度
安全意識を
引きしめて

九月二十一日から三十日まで、秋の全国交通安全運動が行われました。

二十四日には、平安堂座光寺店前にて、生活安全委員と市職員とで通行車に安全意識の高揚を呼びかけました。

交通事故の被害者は高齢者が二十七%、加害者は女性運転者が三十%、また、事故の場所は交差点が四十四%となっています。

シリーズ
2

古代伊那郡衙を支える集団がいた恒川

三 落

「ごんが」は「ぐんが」とよく言われていました。古代
「郡衙は「こほり」(評)とか「ぐうけ」(郡家)ともいわれ、ぐんがと呼ばれていたかどうか分かりません。寛文六年(一六六六)年の土地台帳によると、「五川かいと」「五川畑」「五川清水」という地名があります。こがわと呼んだがごんがと呼んだか分かりませんが、水の豊かな所と思われます。

古くから「古代伊那郡衙」や阿弥陀仏安置の「麻績草堂」の所在が推定され、下伊那史第四巻には阿弥陀垣外で発掘された礎石群を、「麻績草堂」と推定しています。前回の高岡・北市場地籍には殆ど屋敷がないのに比べて、垣川地籍は江戸時代以前から多くの屋敷が存在したところでありました。明治六年の座光寺村の絵図によると四十五軒以上の一戸敷が並んでいます。寛永年間（三百八十年ほど前）には、古いお宅の記録があつた

二、垣川遺跡群

垣川一帯は隙間がないほど
の遺跡地帯で、「垣川遺跡群」
と呼ばれています。縄文時代
と大好きな湧水地帯であつたこ
とも分かります。

二十軒以上の住居址が集中していく、四十四号住居址では「和同銀錢」が出土しています。

中地籍の西側に広がる「志の原」の湿地帯と共に、水利状況をもう一回見直す必要があると思われます。

次回は「やちょうじ」と「まねぞへ」です。

皆さん意見を募集しています。紙上での討論大歓迎です。そんな意見から座光寺が変わるものかもしれません。いや、変えていきましょう。皆さんが主役です。



明治 6 年の座光寺村絵図（恒川周辺）

から平安時代・中世に至るまでの大遺跡で、住宅址も四百件以上は発掘調査され、古墳時代・奈良時代・平安時代の大型建物址も数多く発見されています。中でも奈良時代の住居址が集中的に検出された所は田中・倉垣外地籍で、伊那川清すのめつた

高岡地域全体に広がっています。前回に報告した高岡地籍で確認された「正倉院」「厨」にかかる建物址群が垣川地籍にも広がることになり、垣川地籍は郡衙を支える関連施設や郡衙に勤める役人の館があるともいわれています。

三、恒川清水と集落のありか

中心になるところは「恒川
清水」で、豊かな湧水があつたから「古代郡衙」が置かれたともいわれます。バイパス工事によつて水量が激減したが、大昔から豊かな湧水池で

「広報座光寺」も前号より新しい形になりましたが、さつそく反響があり、うれしく思っています。投稿「声」のコーナーでの犬の糞の話に三人程、他にも参考となる意見をいただきました。

編集後記

演劇宿公演 地べたっこさまやあーい

会場：旧座光寺麻績学校校舎（客席は屋外。雨天時は麻績の館です。）
チケット：一般（高校生以上）前売500円 当日700円
4歳以下小学生 前売200円 当日300円（3歳以下無料）